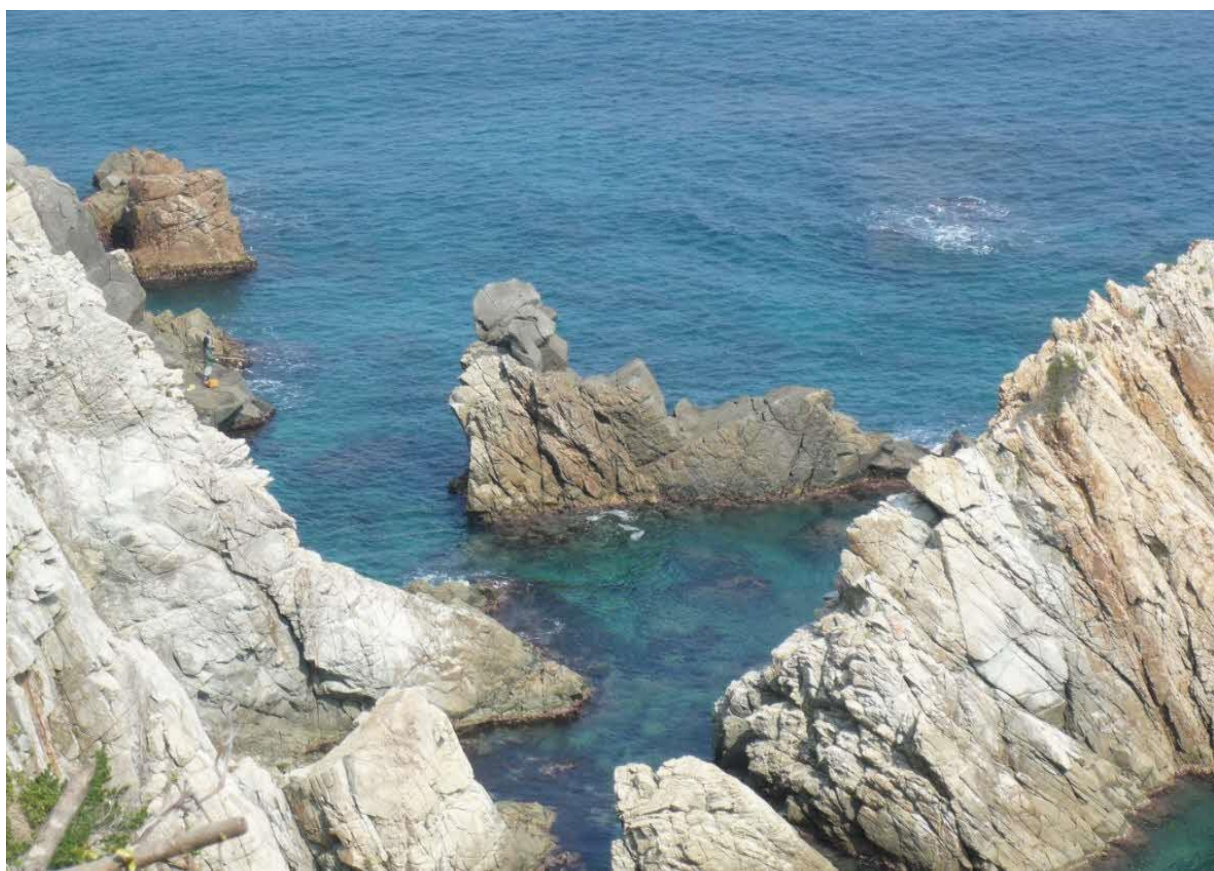


島根県益田市小野地区

地域づくりのテーマ:「海・山の恵みを活かす小野の里」



①地区の概要

【地区の現況】

人口:1,331人 世帯数:620世帯
 高齢化率:50.5% (令和6年1月末現在)

【地区の魅力】

小野地区は、島根県西端に位置し、海岸沿いで山口県萩市と接しており、古来「柿本人麿」生誕地として伝承されている。
 益田十景にも2ヶ所が選ばれており、人形峠から見る雄大な景観と三里ヶ浜の観音岩から見る夕日は絶賛され、その他小浜の海岸は、東山魁夷画伯が皇居新宮殿及び奈良唐招提寺の壁画のモチーフにした地である。(写真は人形岩の風景)

【地区の課題】

少子・高齢化の進行に伴い、拠点となる生活ゾーンの本機能が消失してきており、とりわけ診療施設及び生活用店舗が減少し、生活不安が拡大している。

②実施団体の概要

【団体の名称】

夢あふれる小野の里

【構成団体、構成員】

- 各自治会の会長・副会長
- 地区老人クラブ連合会会長
- 地区食生活改善推進協議会会長
- 地区民生児童委員協議会民生児童委員(女性委員)
- 交通安全協会支部長
- 地区青少年健全育成協議会会長
- 地区更生保護女性会会長
- 地区健康と福祉を推進する会会長
- 商工会支部代表
- 小野中PTA会長
- 一般会員
- 地区民生児童委員協議会会長
- 地区社会福祉協議会会長
- 自主防災組織連絡協議会会長
- 益田市消防団第14分団長
- 地区交通安全協議会会長
- 地区安全を守る会会長
- 地区つろうて子育て協議会代表
- 学校再編対策協議会会長
- 子ども会代表
- 地区人権・同和教育推進協議会会長

【団体の組織図】

《役員会・運営委員会の構成》

(役員会)
 会長・副会長・事務局長
 理事(4名)・部長(3名)
 副部長(3名)

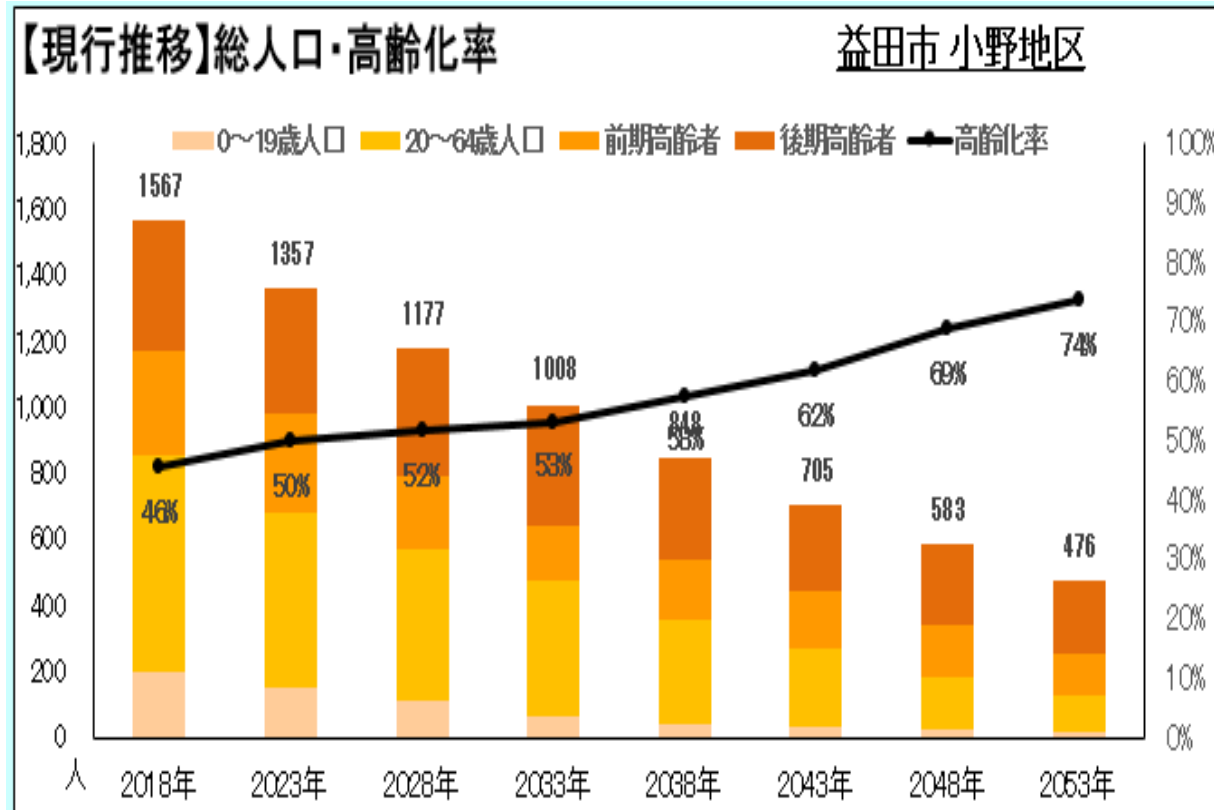
《運営委員会》

構成員
 (団体代表)
 33名

構成員
 (一般)
 15名

【サポート】
 小野公民館

③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

- おの産直市
 令和元年度より本格的に取組を開始し、当面は年間3回の開催を目標としている。
 (令和2年度~5年度はコロナ禍のため12月に1回ずつ実施)
- 「子ども見守り活動」の支援
 令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。
- 「草刈り隊活動」の支援
 令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。
- 休日カフェ
 平成30年度から、地区内有志の方による「まるCafe」を開始した。(令和2年度、3年度はコロナ禍のため活動を休止したが、今年度は12月「産直市」開催時に実施)



【団体長メッセージ】

もはや小野地区の二人に一人が65歳以上の高齢者となり、団塊世代が寿命を迎える20年後には現在の人口(約1,330人)は半減することが予測されている。児童・生徒数についても、地区単独での中学校存続が危ぶまれる現状となっている。耕作放棄地や人家の庭先は、イノシシやサル遊び場と化しつつある。この津波のような時代の変化に立ち向かうべく、「持続可能で魅力ある」いなかぐらし、ふるさとづくりをめざして我々に出来る事は何か。自問煩悶の日々である。

(夢あふれる小野の里 会長 大賀 敏郎)

島根県益田市小野地区

⑤こんなことが話し合われています。



【運営委員会】

各専門部会に属する運営委員の全体会議を年に一度実施している。この会議は、一年間の活動の総括や、総会に提案する議案の「最終審議」を行っている。



【防災環境部の会議・取組】

防災環境部では、地区内の「草刈り活動」や、「子ども見守り活動」等について協議・支援を行っている。また、「鳥獣被害対策」についての対応策を協議した。



【健康福祉部の会議・取組】

当部会の新たな取組みとして、「認知症サポーター講習」についての講習会を実施した。地区住民、市他関係団体職員 計20名が参加し、寸劇を交えながら分かりやすく、楽しく学んだ。



【生涯学習産業部の会議・取組】

生涯学習産業部では、主に「小野探訪ウォーキング」や「おの産直市」の実施計画等について、協議を行っている。今年度は「おの産直市」のみ実施することとした。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



■ 「子ども見守り活動」の支援 (防災環境部会の取組)

令和2年度から実施している「子ども見守り活動」について、前年度同様に活動を継続実施した。地区内22名の隊員さんが、暑さ・寒さにも負けず子どもたちと大きな声で「あいさつ運動」を展開されている。連日の取組みに対して、保護者の方より「感謝・感謝」の声が多々寄せられている。

■ 「しゃべり場」の活動 (防災環境部会の取組)

若者の交流の場「しゃべり場」の活動として、灯籠の灯りで地域を明るくしようということで、12月に小野公民館において「灯りをともすイベント」を開催した。アルミ缶や竹で作成した灯籠を点灯し、地区内外から多くの方が来場し、「夕暮れのともし火」を觀賞された。

■ 「おの産直市」の取組 (生涯学習・産業部会の取組)

ここ数年「コロナ禍」のため年間1回の開催として「産直市」を実施してきたが、今年度も前年同様に、12月に第1回目となる「産直市」を実施した。当初は「小野地区つろうて子育て協議会」主催による「スポーツ交流会」を同日に開催する予定であったが、小野中学校内に「インフルエンザ」が蔓延したため、「スポーツ交流会」は急遽中止とし、「産直市」のみ実施した。当日は暖かい好天に恵まれ、地区内外より多くの方が来場し、販売開始前から行列になる程の賑わいであった。地元小学校児童が「手作りクッキー」を販売し、開始早々に完売となった。



■ 「まろカフェ」の開店

地区内有志の発起により活動を実施しているが、前年度までは「コロナ禍」のため十分な活動はできない状態であった。今年度も前年同様に12月の「産直市」開催に合わせて開店した。来場された地域の皆さんが、「淹れたての香高い本格的なコーヒー」を楽しまれたようです。

お問い合わせ先

夢あふれる小野の里

〒699-3763 益田市戸田町イ501番地

電話・FAX: 0856(28)0001

フェイスブック: @hitomaro201707